Ruby on Rails 講義 第18回, 第19回 Rails基礎

Kuniaki IGARASHI/igaiga 2012.10.18, 25 at 一橋大学 社会科学における情報技術とコンテンツ作成IV (ニフティ株式会社寄附講義)

○ 剰余金の配当に関するお知らせ

○ ニフティ、「@nifty EMOBILE LTE 定額にねんプラン」の提供を開

○ 「@nifty温泉」で「母の日全国一斉 1100のありがとう風呂」特設サイト公。

〇 「スマブレ!」のサービス停止について

○ ニフティとサンリオウェーブ、iOS向けアプリ「Hello Kitty Worl...

○ 平成24年3月期 決算短信

○ 特別損失の計上に関するお知らせ

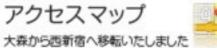
「シュフモ」登録会員数150万人を突破、「2012年 主婦の全国節電測査(冬季...

ニフティとなら、きっとかなう。 With Us, You Can.

社会·環境活 紹介 HOM 垭田情報 ニュースシック NIFTY

アット・ニフティ 楽しいサービスがいっぱい @nifty





@nifty Web募金 東日本大震災復興支援 募金受付中

2012年4月25日 IR 特別損失の計上に関するお知らせ

2012年4月25

2012年4月2

2012年4月1 LE LTE 定額にねんプラン」の提供を開始

iOS向けアプリ『Hello Kitty World』を台湾で提供 2012年4月

2012年4月10日 おいらせ 「@nifty温泉」で「母の日 全国一斉!100のありがとう風呂」特設サイト公開

講師 エーザー 様式会社万葉 エンジニア











連絡

11月1日の講義は休講です。



おみくじアプリ完成予想イメージ

← → C ↑ localhost:3000/today/index

今日の運勢

大吉

ラッキーカラー:緑

ラッキーな方角:北

手順

- 1. Rubyでおみくじクラスを作る
- 2. Railsでアプリを作る
- 3. アプリにおみくじクラスを組み込む

手順

- 1. Rubyでおみくじクラスを作る
- 2. Railsでアプリを作る
- 3. アプリにおみくじクラスを組み込む

Rubyでおみくじクラスを作る

要件

(※要件=満たすべき条件)

1. おみくじ、ラッキーカラー、ラッキーな方角を取得可能。内容は以下。

- **身おみくじ**
 - ▶大吉 / 吉 / 中吉 / 小吉 / 凶
- **シラッキーカラー**
 - ▶赤/青/黄/緑
- **ラッキーな方角**
 - 》東/西/南/北

- 2. おみくじはランダムで結果が変わるようにしてください。
- (毎回同じ結果にならないようにしてください。)

3. irbで次のように実行すると、内容の入ったおみくじの結果が「おみくじオブジェクト」として取得できるようにします。

require './omikuji' omikuji = Omikuji.new

(つまり、omikuji.rbを作ってその中に Omikuji クラスを実装します。)

4. 「おみくじオブジェクト」からは 次のようにして内容を参照できるようにします。

omikuji = Omikuji.new omikuji.name # => '大吉' omikuji.lucky_color # => '青' omikuji.lucky_direction # => '南'

演習:Rubyで作るおみくじクラス 前述の要件で実装してください。

ヒント

- ▶乱数を得るには rand を使います。たとえば rand(4) は 0 ~ 3 のどれかを返します。
- ▶クラス.newしたときには、initialize メソッドが呼ばれます。
- ▶Rubyの文法は講義資料第15回、または「たのしいRuby」、ネットを参照してみてください。https://github.com/hitotsubashi-ruby/lecture2012

Rubyで作るおみくじクラス動作確認

以下のように動けばOKです。irbで実行してみてください。

```
$ irb
```

- > require './omikuji'
- > omikuji = Omikuji.new
- > omikuji.name # => '大吉'
- > omikuji.lucky_color # => '青'
- > omikuji.lucky_direction # => '南'

解答例を次のページに書いています。

演習:Rubyで作るおみくじクラス

解答例

omikuji.rb

```
# coding: utf-8
class Omikuji
 attr reader: name,: lucky color,: lucky direction
 def initialize
  @name = ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][rand(5)]
  @lucky color = ['赤','青','黄','緑'][rand(4)]
  @lucky_direction = ['東', '西', '南', '北'][rand(4)]
 end
end
```

演習解説:Rubyで作るおみくじクラス

```
# coding: utf-8
class Omikuji
 attr reader:name,:lucky color,:lucky direction
 def initialize
  @name = ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][rand(5)]
  @lucky_color = ['赤','青','黄','緑'][rand(4)]
  @lucky_direction = ['東', '西', '南', '北'][rand(4)]
 end
end
```

Omikuji.new すると initializeメソッドが呼ばれ、@name, @lucky_color, @lucky_directionが作られます。名前が@はじまりの変数はインスタンス変数です。

演習解説:Rubyで作るおみくじクラス

```
# coding: utf-8
 attr_reader :name, :lucky_color, :lucky_direction
  @name = ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][rand(5)]
  @lucky_color = ['赤','青','黄','緑'][rand(4)]
  @lucky_direction = ['東', '西', '南', '北'][rand(4)]
```

@name = ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][rand(5)]
のrand(5)は0~4の値をランダムに返します。 ['大吉','吉','中吉','小吉','凶']は配列です。配列[x]でx番目の要素を取り出せます。Oはじまりなことに注意。例えば ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][2]は'中吉'です。

演習解説:Rubyで作るおみくじクラス

```
# coding: utf-8
 attr_reader :name, :lucky_color, :lucky_direction
  @name = ['大吉','吉','中吉','小吉','凶'][rand(5)]
  @lucky color = ['赤','青','黄','緑'][rand(4)]
  @lucky_direction = ['東', '西', '南', '北'][rand(4)]
```

attr_reader :name は @nameを返すメソッドを作ります。以下と同じです。

```
def name
@name
end
```

手順

- 1. Rubyでおみくじクラスを作る
- 2. Railsでアプリを作る
- 3. アプリにおみくじクラスを組み込む

Rubyで動くおみくじクラスができました。ヽ(´▽`)ノ

手順

- 1. Rubyでおみくじクラスを作る
- 2. Railsでアプリを作る
- 3. アプリにおみくじクラスを組み込む

つぎはRailsでアプリを作ってみましょう。 ここからは演習にします。自分で資料を読みながら 作ってみてください。

今日の運勢を表示するアプリをつくります。

- 1. Railsアプリをつくる
- \$ rails new fortunes
- 2. Rails Root へ移動してページのひながたをつくる
- \$ cd fortunes
- \$ bundle exec rails g controller today index
- 3. Webサーバを起動する
- \$ bundle exec rails s
- s は server の略です。 ※終了は Ctrl+c (or Ctrl+Pause)
- 4. ブラウザから以下のURLにアクセスする

http://localhost:3000/today/index

こんな画面が出ます→

Today#index

Find me in app/views/today/index.html.erb

手順

- 1. Rubyでおみくじクラスを作る
- 2. Railsでアプリを作る
- 3. アプリにおみくじクラスを組み込む

そして、ここまでに作った2つを組み合わせます。

5. 今日の運勢を表示させる

omikuji.rb をlib/ の下にコピーします。

lib/omikuji.rb

というファイルがあるように配置すればOKです。

5. 今日の運勢を表示させる

次に、

app/views/today/index.html.erb

<h1>Hello#index</h1>

Find me in app/views/today/index.html.erb

となっているところを以下のように修正します。



<% @omikuji = Omikuji.new %>

<h1>今日の運勢</h1>

<h2> <%= @omikuji.name %> </h2>

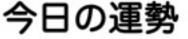
> ラッキーカラー: <%= @omikuji.lucky_color %>

> ラッキーな方角:<%= @omikuji.lucky_direction %>

さきほど同様にブラウザで以下へアクセス

http://localhost:3000/today/index

こんな画面が出ればOKです。→



小吉

ラッキーカラー: 黄

ラッキーな方角:東

解説:ViewにRubyのコードを埋め込む

ViewにRubyのコードを埋め込む2つのパーツがあります。 <% %> と <%= %> です。

<% %>

例: <% @omikuji = Omikuji.new %>

<% %> で囲まれたRubyのコードを実行しますが、結果を出力しません。処理だけを行う場合に使います。

<%= %>

例: > ラッキーカラー:<%= @omikuji.lucky_color %>

<%= %> で囲まれたRubyのコードを実行して、結果を出力します。表示したいときに使います。

6. Controllerへ処理を移動する

Viewは表示をする役割を受け持つ部分なので、表示部分だけを残して 処理はコントローラへ移動します。

以下のファイルを変更して、ブラウザからアクセスしてみてください。 app/controllers/today_controller.rb

```
require './lib/omikuji.rb'
class HelloController < ApplicationController
def index
@omikuji = Omikuji.new
end
end
```

app/views/today/index.html.erb

※このように「外から見た振る舞いを変えずにコード整理する」 ことをリファクタリングと言います。

完成です!

← → C ↑ localhost:3000/today/index

今日の運勢

大吉

ラッキーカラー:緑

ラッキーな方角:北

おつかれさまでした

はやく終わった人は

- Codecademy のRuby編をやってみる Codecademyはオンライン学習サイトです。
 実際にブラウザ上で実行して答えあわせをできるのが便利。 http://www.codecademy.com/tracks/ruby
- ・ミニツク のRuby入門編をやってみるミニツクはオンライン学習サイトです。(日本語) 説明がとても丁寧でわかりやすいです。 http://www.minituku.net/



Me -

Introduction to Control Flow

Course written by Eric Weinstein

Ruby » Control Flow in Ruby (Section 1 of 4)

Section Q&A Forum (11) Glossary Scratch Pad

1. How It Works

2.1f 上問題文

Ruby's if statement takes an expression, which is just a fancy word for something that has a value (like 4, true, or pants). If that expression is true, Ruby executes the block of code that follows the if. If it's not true (that is, false), Ruby doesn't execute that block of code: it skips it and goes on to the next thing.

Here's an example of an if statement in action:

```
if 1 < 2
  print "I'm getting printed because one
is less than two!"
end</pre>
```

Ruby doesn't care about whitespace (spaces and blank lines), so the indentation of the print statement isn't necessary. However, it's a convention that Rubyists (Ruby enthusiasts) follow, so it's good to get in the habit now. The block of code following an if should be indented two spaces.

>

When you're done with your if, you have to tell Ruby by typing end.

Write your own if statement in the editor. It





Show More

講義資料置き場

講義資料置き場をつくりました。 過去の資料がDLできます。

https://github.com/hitotsubashi-ruby/lecture2012 or

http://bit.ly/ruby-lecture

雑談・質問用facebookグループ facebookグループを作りました

https://www.facebook.com/groups/hitotsubashi.rb

- ・加入/非加入は自由です
- ・加入/非加入は成績に関係しません
- ・参加者一覧は公開されます
- ・書き込みは参加者のみ見えます
- ・希望者はアクセスして参加申請してください
- ・雑談、質問、議論など何でも気にせずどうぞ~
- ・質問に答えられる人は答えてあげてください
- ・講師陣もお答えします
- ・入ったら軽く自己紹介おねがいします